

わたしの履歴書



こま けんじ
名前 小島 健二
年齢 32歳
出身地 札幌市

- 2005年 札幌大学経営学部経営学科卒
- 13年 社会保険労務士試験合格
- 14年 小島健二社会保険労務士事務所を開業

■朝一番の仕事はメールチェック。返信が済んだら、各種手続きの申請資料を作成し、役所に提出。午後は顧客の会社を訪問し、打ち合わせを行うことが多い



顧客の相談にのる小島さん。労働トラブルにも対応

社会保険労務士(社労士)は、企業の経営者が従業員に対して行うさまざまな管理業務を、法律知識に基づいてサポートします。小島健二さんは、働きながら国家資格の取得試験に挑戦。6年がかりで合格し、2014年に生まれ育った札幌で独立開業しました。

健康保険や雇用保険の手続き、仕事中にケガをした従業員の労災保険の申請、アルバイトの契約書の作成。企業と働く人にとって重要なやりとりを、専門知識を生かして文書化したり、提出したりするほか、人事や労務について経営者の相談にのるのが主な仕事です。顧客の質問や相談に

企業の経営者手助け

トラブル解決助言

正確に素早く対応するには、「専門書を読むなど日々の自己研さんが必要」。専門用語をわかりやすく説明する努力もおこたりません。

大学卒業後の4年間はフリーターでした。何か資格を得ようと行政書士に挑戦しますが、2年連続で試験に落ちてしまいます。今度は社労士を目指そうと、埼玉県の社労士事務所に就職。正社員として働きながら、勉強を始めました。

Q.なぜ社労士に？

A. 弁護士や検事が主役のドラマを見て、「法律に関わる仕事は面白そうだな」と興味を持ちました。

Q.必要な学歴や資格は？

A. 社会保険労務士という国家資格が必要です。独学でも受験はできますが、高等専

あきらめず勉強続け資格

門学校(5年制)、短大、大学卒の学歴か社労士事務所等での実務経験が3年あれば、受験資格がもらえます。

Q.社労士を目指す人にアドバイスを。

A. 私は学校で法律学を学んだわけでも、勉強が得意だったわけでもありません。合格の秘訣は、あきらめないこと。真面目にコツコツ勉強を続けることです。

雇用、年金の専門家

しかし、試験は年にたった1回。ようやく受かったのは6回目です。「おかげで、多少のつらいことではくじけなくなりました」

社労士は、弁護士や税理士に比べると新しい仕事ですが、ブラック企業が問題になっている今、「必要性は高まっています」。今後は企業や学校で講習会を開き、持っている知識を多くの人に役立てていくことも考えています。

文と写真・孫田規子

社会保険労務士 小島 健二さん